

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄
 No. C-12

【様式 2】

部門名： 地域とともにある学校実践部門	エントリー名： 新潟市立山の下小学校 教諭 小林 恵 平成30年度第3回中堅教員研修
活動名： 地域合同防災訓練 自助・共助を実践するために	
解決すべき課題： 海に面した地域の災害特性として、地震による津波が最重要対策課題となる。学校のみならず、地域も一体となって、自助・共助の視点から防災体制を整備する必要がある。そこで、5年前から地域と共に防災訓練に取り組み、危機管理意識の向上を図ってきた。	
目標・方針： ①地域と学校が一体となって避難訓練を行い、災害時の避難場所・避難方法について共通理解を図る。 ②災害があった場合を想定し、救助法、非常食作り、消火訓練などを体験し知識を深める。 ③災害時を想定した引き渡し訓練後、各家庭で訓練を振り返りながら家族の災害時の避難場所や安否確認の方法などを話し合い、防災への意識を高める。	
活動内容： ①小学校での地震による津波を想定した避難訓練と、地域の防災訓練を合同で行い、地域全体で避難を実際に体験した。 ②避難後、低学年→JRC講師による子ども安全教室 中学年→地域の方と救助法体験、炊き出し訓練見学、消火訓練体験 高学年→5学年 防災食作り体験 6学年 津波避難マップ作り をそれぞれ実施した。 ③災害時を想定し、下校の際、引き渡し訓練の方法を保護者に説明、周知の上、実際に実施した。 ④下校後、家庭で、ワークシートをもとに訓練を振り返り、災害時の避難場所などを確認した。	
活動の成果： ①地域全体で津波を想定して避難訓練を行い、毎年繰り返すことで、避難方法が着実に身についてきた。 ②災害時の救助や消火、炊き出しなどの動き（マニュアル）が確認でき、児童も体験を積み重ねることで、地域全体で災害時に対応できる素地が作られてきた。 ③児童は避難訓練や防災学習を通して「自分の命は自分で守る」という自助の意識が高まり、地域全体では避難が難しい人を把握して声がけしたり、訓練を通して助け合ったりと、共助する意識が高まってきた。 ④災害時の家庭での避難場所や連絡方法を確認してある家庭が増えた。	
アピールポイント（アイデアや工夫）： ①地区コミュニティ協議会や区役所と連携し、地域全体で取り組むことで、より実際の災害時を想定した訓練が行える。 ②児童が真剣に行くことで地域の方の参加率も高まり、児童も地域の方の参加により意欲的に訓練に参加するようになる。 ③継続して行うことで、小学生のうちから災害に対する意識が高まり、地域全体が地域の津波という災害特性を理解した上で行動できるようになる。 ④災害時における家庭での具体的な対処方法を話し合っ決めて決める良い機会となる。	

<写真、図表添付欄>

小学校

小学校としての防災学習・避難訓練プラン

地域

自主防災会としての防災訓練プラン

合同防災訓練 打ち合わせ会議

当日

地域合同防災訓練
 (当日8:15地震による津波を想定し避難訓練)
 住居近くの高台となる避難場所へ避難
 小学校は屋上へ避難

1・2学年

「親子 DE レスキュー」と題し、JRC 救急看護講習会を実施。

3・4学年「地域の方と救急訓練」

①簡易担架作り
(毛布と2本の棒で担架を作る方法を体験)

②AED操作体験
(AEDの使い方を学習後体験)

③煙・消火体験
(地震後の火事に備え、煙の中での避難法と消火法を体験学習)

地域の方の訓練と一緒に参加。

5学年「防災食作り体験」

「ハイゼックス包装食」という袋を使った米の炊き方体験。非常用の水を最小限に利用してご飯を作る方法を学習。

6学年「津波避難マップ作り」

講師の方からマップ作りの視点を聞き、実際に地域を歩いて危険箇所の写真を撮り、津波避難マップを作成。

炊き出し訓練
(「アルファ米」の炊き出し訓練。)

最後に…
 ・今日帰る時に自分の道字路をチェックしてみよう！
 ・家族と一緒にチェックできるともっと安心！
 ・家族が睡ればなれの時の集合場所・連絡手段も確認！
 ・災害用伝言ダイヤル(171)は毎月1日と15日が休日はです。

家庭で災害時における具体的な対処方法を話し合う。教職員で訓練を振り返り、危機管理意識の向上を図る。

振り返りからの改善点を次回の避難訓練、日々の生活に生かす。